

なめがた大使 小林光恵さん 書きおろしエッセイ 五感でキャッチ！なめがた漫遊記 第16回

ファンタステイック！

猛暑続きでため息が漏れでるころ
プールに行きたくなる。中学時代のプー
ル帰りに自販機でジュースを買って飲
んだのを懐かしく思い出し、すかつと
することができずからだ。

しかし、なぜそんなにも懐かしく思
うのか、不思議だった。

玉造中学校の生徒だった私は、当時
(1970年代)、夏休みに開放される、
学校奥にあるプールに通った。プール
帰りに自販機でジュースを買って飲む。
いつもファンタグレープだ。冷たくて
気持ちいいそのビンを持って自販機の
専用箇所で栓を抜き、その場であーっ
と飲み干し、ビン置き場に置いて、そ
の場を後にしたのだった。

現在、プール帰りに立ち寄る自販機
は昔のそれとはデザインがかなり違
うし、買うのも水かお茶で、入れ物はベッ
トボトルで、その場では数口しか飲ま
ず、ふたをしてバックに入れてしま
う。あの頃を懐かしく思うような部分が見
つからなかった。

それが先日、一気に疑問が解けたの
だ。住まい近くの洞峰公園内のプー
ルの帰り、先客の幼児が、大人に抱えら
れて自販機のボタンを押し、商品が落
ちる音を聞き喜んでいた。

中学の頃は、自販機のボタンを押
すと待ってましたとばかりに商品が落

ちる音が「ファンタステイック！」(ファ
ンタのテレビCM中のフレーズ。意味
や響きが好きだった)と言っているよ
うで、思春期の不安やもやもやが一気
に晴れる気がしたものだ。

現在の自販機も、ボタンを押すのと
飲み物が落ちるタイミングはあの頃と
変わりはなく、プール後の独特の疲労
感を覚えながら、その感じを味わうこ
とが、懐かしさをもたらしているのだ
と思われる。

自販機の飲み物の落ちる音がこわい
という友人がいるけれど、私がああ音
を明るく爽快に感じる事ができるの
は、こんな過去があるからかも。それ
にしても、すっかり忘れていた。人生、
覚えていることより、忘れてしまふこ
とのほうが圧倒的に多いのですね。

小林 光恵さん



最近、もう一本当たる式の
自販機を見かけず残念です。
以前、当たって、缶コーヒー
をもらえたことがあります。
過去の栄光。

行方市出身。つくば市二の宮在住。ビッ
クルボールというスポーツの初心者の練
習会に、たまに通うようになりました。こ
のスポーツに、はまりそうな予感。

市公式ホームページ内で
「行方帰省メシ」連載中。
サイトはこちらから▶



地域おこし 協力隊

連載コラム⑬

普段は、新規就農をミッションとして
活動しておりますが、今回は私が運営の
お手伝いをしている、行方市の地域お
こし会議「行方M3」(なめがたエムズ)
の活動をご紹介します。

行方M3は、行方市生まれ行方市在
住の25歳の若者が、地域の方の声を聞き、
地域活動に反映させていきたいという思
いから、昨年の12月から始動し、毎月1
回市内で開催しています。初回は15人の
参加となり、内訳も20代から60代まで幅
広い年齢層の方々と、今後の地域づくり
の方向性について、幅広い視点で意見交
換することができました。

そして、6月からは行方市で事業や地
域活動に頑張っている方々の方をゲス
トにお迎えして「行方プレイヤーズイン
タビュー企画」を始めました。6月は焼
き鳥げんきの堀越さん、7月は木組スタ
ジオNo.0の大谷さんにインタビューを
させていただきました。

地域づくりにつなげられるよう、今後
も継続開催していく予定です。興味のある
方は、ぜひご参加をお待ちしています。

(次号は、高木桂子が担当します。)



▲佐藤 晶 隊員

【令和5年11月1日～現職】
新規就農を目指し農業に従事するほか、市の農業を盛
り上げるためのPR活動等
を行う。マルシェ等の企画
提案も実施。



①



②



③



④



@NAMEGATAM3

▲行方M3の
Instagram
はこちらから

- ①②会議の様子。付箋を使ったワークショップを実施
- ③④各事業者の方へのインタビューの様子